

❀ 第1回 開催報告 ❀

ご参加いただいた皆さま
ありがとうございました。

- 日 時: 第1回 平成29年7月31日(月) 19:00~21:00
- 場 所: 野母崎文化センター
- 参加者: 中学生を含む地域の皆さん 約50人

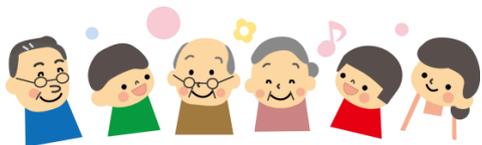


人口減少や少子高齢化が進む中であっても、暮らしやすいまちであり続けるために、野母崎にある公共施設はこれからどうあったら良いのか…将来に向けた公共施設のあり方を皆さんと一緒に考えていきたいと思い、市民対話を開催しました。

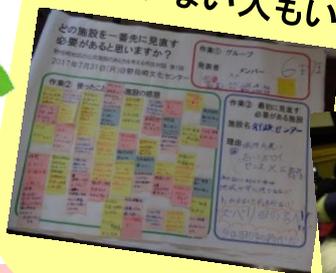
第1回の市民対話ではこのようなことを行いました！

作業1

まずは、自己紹介を行い、グループ協議の最後に発表する人を決めました。



野母崎地区にある公共施設の中で、使ったことがある施設の名前と、使った時の感想をそれぞれ付せんんに書き出しました。ほとんどの施設を使ったことがある人もあまり使ったことがない人もいましたが、たくさん感想が出ました。



作業2



作業3



作業2を踏まえて、最初に見直す必要がある施設をグループごとにひとつ選びました。そして、なぜその施設を選んだのかをグループごとに発表して、全員で共有しました。

次回の対話

皆さんからいただいたご意見やアイデアをもとに、話し合いの土台となる施設の見直し案を市からご提案させていただきます。その見直し案について、グループ協議を行います。

【今後の予定】

第2回 8月25日(金) / 第3回 9月25日(月) / 第4回 10月27日(金)
いずれも19時から野母崎文化センターで開催します

各グループから発表された 主な意見を ご紹介します

たくさんの公共施設の中から「最初に見直す必要がある施設」をグループで話し合って決めました。



●選んだ施設: 軍艦島資料館

●選んだ理由

- ・軍艦島が見えない資料館は興味が半減する。
- ・展示物に魅力がない。

1班

●選んだ施設: 総合運動公園 水泳プール

●選んだ理由

- ・絶景スポットにあるのに、年間の稼働日数が少ないのもったいない。
- ・青潮学園のプールを子どもたちが利用できるのであれば、必要ない。

2班

●選んだ施設: ふれあい新港

●選んだ理由

- ・今は、あまり使われていない。
- ・合宿所、小学生の遊び場や高齢者の交流所として使える。
- ・近くにバス停があるので、どの地域からでも利用がしやすい。

3班

●選んだ施設: 野母崎行政センター

●選んだ理由

- ・空いているところが多くもったいない。
- ・使い方はこれから考えればいいと思うが、民間で使いたい人は多いのではないか。

4班

●選んだ施設: 市営住宅

●選んだ理由

- ・家を探している若い世代もたくさんいるので、若い人たちも入居したくなるような魅力ある住宅がほしい。
- ・建物が古い。脱衣所、シャワー、防音性、駐車場がない。

5班

●選んだ施設: 野母崎行政センター

●選んだ理由

- ・広すぎる。潮の影響で老朽化が激しい。
- ・地域の中心にないので、高浜地区の人たちは三和へ行きがち。
- ・田の子へ持っていきよう！

6班

●選んだ施設: 総合運動公園 水泳プール

●選んだ理由

- ・施設が古い。
- ・海水浴のあとにそのまま利用できる。
- ・お年寄りも気軽に運動ができるような温水や室内プールになったらいい。

7班

市民対話の全体とりまとめを行っていただいた、前橋工科大学の堤先生からは、「公共施設はただ広いというよりも、気持ちがいい空間があることや、多くの人と会話ができる方が良いのではないのでしょうか？」というお話や「公共施設の話だけではなく、これまでの生活を見直す、これからの生活を考えるきっかけにしたい」というお話がありました。



中学生の皆さんの感想



今回の市民対話には4人の中学生の参加がありました。参加いただいた中学生の皆さんの感想をご紹介します。

地域の話し合いの結果、青潮学園ができたと聞いて、市民での話し合いは大切なんだと思いました。

自分達の住む地域のことを自分達で意見を出し合うのが楽しかったです。

自分たちの住む地域の公共施設について、知らないところが多くてびっくりしました。

たくさん意見が出てよかったです。次回からも、もっと自主的に取り組んでいきたいと思いました。

終了後のアンケートでは、「市の説明が長く、話し合う時間が少なかった。」「もっと自由に意見が言える時間を取ってほしい。」という声をいただきました。また、「いろいろな意見を聞けてよかった」という声があった一方で、「もっと若い人の意見を知りたかった」という声もありました。

次回は、話し合いの時間を長く取り、たくさんの意見をお聞きできるように運営を工夫したいと思います。(担当者一同)